

防災商品アイデア競う

東京都内の中小企業者による防災用品を
相次ぎ開発中という。救助作業中の被災者を瞬時
に回復に知らしめる装置や、避難所暮らしに有効
とした女性用下着など、災害現場のニーズ
を把握し開発した商品が数多くある。既に被災者
の声を聞き、中小企業の技術やアイデアの商品化
を後押しする仕組み、災害に強い都市づくり
を目指す。

作業員の異変を振動で仲間知らせる

- 1 センサーが転倒や滑るの衝撃を感知
- 2 他の作業員に発信
- 3 受信する者へヘルメットの
小型ハンマ音が振動

転倒・同僚に振動 アラームシステム 音声情報・文字に

ヘルメットにセンサーを装着し、転倒や滑るなどの衝撃を感知すると、アラームが鳴り、同時に同僚に知らせる装置を開発した。作業員がヘルメットにセンサーを装着し、転倒や滑るなどの衝撃を感知すると、アラームが鳴り、同時に同僚に知らせる装置を開発した。作業員がヘルメットにセンサーを装着し、転倒や滑るなどの衝撃を感知すると、アラームが鳴り、同時に同僚に知らせる装置を開発した。

「ヘルメットにセンサーを装着し、転倒や滑るなどの衝撃を感知すると、アラームが鳴り、同時に同僚に知らせる装置を開発した。作業員がヘルメットにセンサーを装着し、転倒や滑るなどの衝撃を感知すると、アラームが鳴り、同時に同僚に知らせる装置を開発した。作業員がヘルメットにセンサーを装着し、転倒や滑るなどの衝撃を感知すると、アラームが鳴り、同時に同僚に知らせる装置を開発した。」

ホームドアに電子看板

東急電鉄、まず武蔵小杉駅

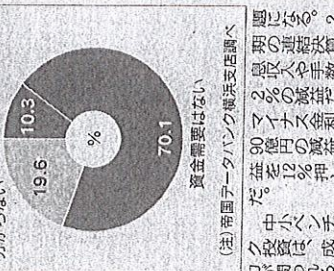
東急電鉄は、東横線の武蔵小杉駅(川崎市)のホームドアに電子看板(デジタルサイン)を取り付け、線路のPR映像や運行情報を瞬時に発信し始めた。7月以降に大井町線の他の駅への導入も検討する。東横線武蔵小杉駅(東京・江)は、東急電鉄が初めて導入する。東横線武蔵小杉駅(東京・江)は、東急電鉄が初めて導入する。

「ホームドアに電子看板(デジタルサイン)を付け、線路のPR映像や運行情報を瞬時に発信し始めた。7月以降に大井町線の他の駅への導入も検討する。東横線武蔵小杉駅(東京・江)は、東急電鉄が初めて導入する。」

「東横線武蔵小杉駅(東京・江)は、東急電鉄が初めて導入する。東横線武蔵小杉駅(東京・江)は、東急電鉄が初めて導入する。東横線武蔵小杉駅(東京・江)は、東急電鉄が初めて導入する。」

横浜銀剛体創 荒波の船出

横浜銀剛は2016年3月の創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。



「横浜銀剛は2016年3月の創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。」

「横浜銀剛は2016年3月の創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。」

「横浜銀剛は2016年3月の創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。」

「横浜銀剛は2016年3月の創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。」

東京

「東京は2016年3月の創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。創業以来、初の半額減価を遂げ、初の黒字を達成した。」

日本文化若い世代に

三遊亭家の榎子さま(34)が、子供たちに日本文化を伝える団体「心游舎」(京都府)を設立されて5年目を迎えた。海外留学中に日本人が日本文化について学ぶことの大切さを痛感されたのがきっかけという。茶の湯や和菓子作りなどを通じ、若い世代が伝統文化に触れる機会を提供されている。



①楽家の1人として、子供たちとともに和菓子作りを教わる榎子さま(2011年4月1日、京都府京都市)

榎子さま「心游舎」設立5年

「小さい頃に経験した本物の記憶が、日本文化を大切にしていくことにつながります」。榎子さまは4月下旬、京都中伏見区の醍醐寺で、「日本文化を未来に伝えるために」というテーマで講演された。大英博物館で働いていた榎子さまは、海外に出ることで、海外に出ることで日本の代表として文化を伝える必要があると感じ、2010年まで6年間、

当初は7人だけ

榎子さまに心游舎の活動について聞いた。設立からこれまで振り返られてはいかがですか。当初は体験講座に7人しか参加しませんでした。スノーバーでチカラを配ったこともありました。最近では活動も理解され、参加者も増え、励みになっていきます。

子供たちと触れ合われてみてどうですか。「なんで、なんで」と聞かれるたびに、大人が考えるのをやめてしまっていること、多岐に気が付かされ、勉強になりました。

4年前に逝去された父の眞仁さまから受け継がれた部分があります。「皇統は国民の中に入り、国民が選ぶのをやるのが仕事だ」という父の思いを胸に子供たちたちに日本文化の魅力を伝えていきます。

同会は眞仁さまに基き、和歌や書道の文化を継承し、子供たちに伝えていくことを目指しています。



②楽家の1人として、子供たちとともに和菓子作りを教わる榎子さま(2011年4月1日、京都府京都市)

「心游舎」(京都府)を設立されて5年目を迎えた。海外留学中に日本人が日本文化について学ぶことの大切さを痛感されたのがきっかけという。茶の湯や和菓子作りなどを通じ、若い世代が伝統文化に触れる機会を提供されている。

防災無線 文字に変換

IT企業など 聴覚障害者向けアプリ



「防災無線」(AMラジオ)の放送内容をスマートフォンアプリで受信し、文字に変換して読み上げられる。聴覚障害者や高齢者が災害時の情報を素早く受け取れるようになる。

災害情報を聴覚障害者に届けるため、防災行政無線やラジオなどから流れる音声や文字を認識し、表示するスマートフォンやタブレット端末用アプリが、IT企業などによって次々と開発され、実用化が始まっている。通信環境が悪化するなど様々な理由で、防災無線やラジオの音声は、文字に変換して届けるのがメリットだ。

1人でも多くに

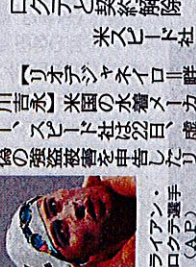
「フィールドシステム」(那覇市)が開発したアプリは「サウンドコード」。「津波が来ます。海岸に近づかないように」といった文を、サウンドコードと呼ばれる特殊な音声に変換し、防災行政無線やラジオを通じて流すと、アプリが端末のマイクでサウンドコードを認識し、文章に再変換して画面に表示する仕組み。文章はアプリで読み取られ、必要な時に読み返せる。

同社は昨年4月、このアプリを使った防災無線システムを自治体やラジオ局向けに発売する予定で、「情

報が届くことで1人でも多くの人が助かるようにしたい」としている。

「エナジヤ」(東京都中央区)の音声技術を使って、2014年に「ブロードキャスト」が開発した「Dicast」(エナジヤ)も、防災行政無線などから人間の耳には聞えない周波数の「非可聴音」を発生させて、アプリが感知し、あらかじめ登録されていた「地震」や「水害」などの災害情報を画面に表示する。

中津川市海産物(中津川市)が今年6月から、県内放送のシステムを利用して、災害時には避難場所にも役立つ。国立研究開発法人「情報通信研究機構」(東京都小金井市)が昨年開発した「こえごころ」は、聴覚者の声を文字に変換して表示するアプリが、「耳が聞こえないのでこれを使ってお話しします」一連の場所を案内する。また、米エド社「リオテック」(東京都川口市)も、米国の水質測定器「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、



スマートウォッチの「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、

吉田引退を示唆「頭の中に出してきた」

リオテックのリオテック(東京都川口市)が、米国の水質測定器「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、

「頭の中に出してきた」という言葉で、米エド社のリオテック(東京都川口市)が、米国の水質測定器「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、

「頭の中に出してきた」という言葉で、米エド社のリオテック(東京都川口市)が、米国の水質測定器「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、



「頭の中に出してきた」という言葉で、米エド社のリオテック(東京都川口市)が、米国の水質測定器「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、

「頭の中に出してきた」という言葉で、米エド社のリオテック(東京都川口市)が、米国の水質測定器「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、



「頭の中に出してきた」という言葉で、米エド社のリオテック(東京都川口市)が、米国の水質測定器「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、

「頭の中に出してきた」という言葉で、米エド社のリオテック(東京都川口市)が、米国の水質測定器「スマート」社が開発した「スマート」の強盗被害を申告したり、